

「花いっぱいのあるふる里づくり」の更なる進化を夢見て

地域を元気にするために、今、行っていること

- 1・地域に四季折々の花を植え、自分達も楽しむとともに訪れる人達にも楽しんでいただく。
彼岸花と紫陽花を植え続け、彼岸花は県道 10km 間の両脇に彼岸花ロードを形成。
紫陽花は、4 スポットに 300 本。
- 2・山桜の活用
何千本という山桜の調査…樹高・幹周り・生育状況・周辺環境等を調べインターネットで紹介。



これらを活用した都市との交流が始まる……田植え体験・稲刈り体験他

これからの夢（今の活動を更に深める）

- 1・遊休農地の活用 オーナー制田圃・畑の確立
 ドッグランの設置
- 2・地域に産業を 花いっぱいのあるふる里を利用して養蜂業を起こす
- 3・閉校となった小学校の活用
 田舎体験宿泊施設にリニューアルする
- 4・柴北川の活用 川遊び体験・魚とり体験・川魚料理 他
 希少生物ニホンシマドジョウの養殖

└─→ 地元の資源や環境を最大限に活かした、地域作り



交流人口や定住人口の増加 → **活気ある田舎の創造**

少子高齢化の波が押し寄せている田舎にあって、
産業が生まれ、雇用が生じ、交流人口や定住人口を増加させていくなかで
いつの日か、閉校となった小学校が復活する日を夢見て、自分達も楽しめるふ
るさとづくりに汗を流している。

